

立春が過ぎ、日本ではもう春です。春は生命讃歌のときです！ 今年度の総まとめのカラカス太鼓演奏に、全身全霊をささげます！



■ ■ ■ 全校節分集会で日本の春を呼ぶ！ ■ ■ ■

2月3日(金)は節分でした。節分には、毎年、全校節分集会を実施してきました。今年の節分集会は、節分のお話を早々に済ませて、節分といえば鬼、鬼といえば「鬼ごっこ」ということで、全校遊び塾集会として様々な鬼ごっこを子どもたちと教員で楽しみました。その数、9つ。(①鬼ごっこ②ボール鬼③手つなぎ鬼④子ふやし鬼⑤宿鬼⑥氷鬼⑦木鬼⑧しゃがみ鬼⑨ゾンビ鬼)体育館で、グラウンドでたくさんの鬼ごっこおを体験しました。でも、節分にはやっぱり「あれ」です。そうです！ 豆まきも、美味しい豆も食べましたよ。



● ● ● カラカス太鼓の練習に熱入る！ ● ● ●

いよいよ来週2月18日の土曜日は、日本文化週間でカラカス太鼓を発表します。出演時刻は午後1時半の予定です。今回は難しい曲を3曲、本校のオールスタッフ(児童5名と教職員10名)で演奏します。毎週2回、火・木曜日の朝休みに練習を積み重ねています。当日の応援、宜しくお願いします。



頑張れ！ウサギのユキちゃん！
毎日ユキは、せっせと巣に草を運んでいます。どうやら産まれてくる赤ちゃんのためのようです。みんなで応援しています！

カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…(その152)

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 47

2月18日(土)の日本文化週間で演奏する「カラカス太鼓」の練習を、毎火木の朝休みに行っていきます。今年は初めて3曲を演奏します。腕は痛く、手には豆、額には汗が滲みます。しかし、21年続く伝統を大事にしたい、引き継いでいきたいという思いが強いです。前回まで連載してきた西岡先生に敬意を表して、当時の写真を載せます。

■ **カラカス太鼓誕生の瞬間** ■ 創立20周年記念行事が行われたのは、1995年11月25日です。この時、初めて「カラカス太鼓」は大勢の人々の前で演奏されました。最初は「アビラのひびき」、次に「海をこえて～Las Olas～」でした。当時のアルバムには、「割れんばかりの拍手が巻き起こりました」「観覧席ではラテンのリズムに合わせて、体を動かす姿もあちこちに見られました」の記述があります。その感動が伝わってきます。下の写真は、その日の様子を写したものです。左から、「挨拶する西岡先生」「補習科太鼓を指揮する西岡先生」「カラカス太鼓を演奏する子どもたち」



です。ここから全が始まり、ここから今につながるのです。2月18日(土)には、カラカス太鼓を作ったり、繋げてくださった多くの方々に感謝して、心を込めてたたきます。